

【バードライフ・インターナショナル】

## 「全国シギ・チドリ類ネットワーク交流会」が 開催されました

東アジア・オーストラリア地域の渡り鳥とその生息地の保全を目的とした国際的な枠組み「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ」の下には、「東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」が設置されています。このネットワークには、渡り鳥の保全上重要な湿地が参加し、日本では32の湿地が登録されています。さらに、飛来する鳥の種類によって、ガンカモ類、シギ・チドリ類、ツル類の3部門に分かれ、このうちシギ・チドリ類のネットワークを対象にした交流会が2014年9月に佐賀県鹿島市で開催されました。

交流会には、全国からシギ・チドリ類ネットワークに登録されている8市町村の行政担当者のほか、鹿島市周辺で活動しているNGO団体の関係者など約40名が参加し、各登録湿地で抱え

る課題や実施されている渡り鳥の保全活動などについて話し合われました。日本を含む東アジア・オーストラリア地域では、シギ・チドリ類の個体数減少が著しく、早急な対策が求められています。各登録湿地が単独で保全活動を実施するよりも、ネットワークを駆使して情報交換や成功事例の共有、共同調査を促進していくことで、より有効な保全対策をとることができます。今後もこのような活動を通じて、各地の保全活動を推進します。



ハマシギ ©守屋年史

バードライフ・インターナショナル

イギリス ケンブリッジに本部を持つ国際環境NGO。

世界120か国のパートナー団体と約280万人のメンバーとともに、

鳥類を指標にして環境保全に取り組む。

高円宮妃久子殿下が名誉総裁を務める。